



木曽林務課だより

3月

暖かい陽気で、サクラのつぼみが膨らんで、春本番も間もなくです。今回は、木曽の林業で活躍されているきのこの達人とこれからの活躍が期待される女性林業士のニュースをお知らせします。

木曽の林業を輝かせる林業人のうれしいニュース2選

ーしいたけづくりの名人 池上達雄さんー

長野県内で生産されるきのこのを一堂に集め、優秀な生産者を選奨するとともに、広く一般に公開し、生産技術並びに品質向上と消費の拡大を図るために、農林水産祭参加行事として例年開催される「長野県きのこ品評会」において、池上達雄さん（70才）の出品された乾しいたけが「しいたけ・なめこ等部門」で長野県森林組合連合会長賞を受賞されました。

池上さんは、木曽町開田高原でナラとクヌギの原木から「しいたけ」を生産されていて、特に原木の「乾しいたけ」は、木曽地域で唯一の生産者であるとともに、その「品質」は品評会で毎回入賞されるほどの優良品です。原木の「しいたけ」は、原木の養分と水だけで育てる安全・安心な食品であるとともに、きのこの持つ本来の香りや味を楽しめる素晴らしい食材です。

ぜひ、機会があれば、池上さんが木曽の森と環境で育てるきのこのを賞味してみたいはかがでしょうか。きっと、原木きのこの魅力が感じられます。



池上 達雄さん



開田高原の酷寒の中で、春の発生を待つ「しいたけ」の「ほだ木(しいたけの種菌を打った原木)」



長野県林業士認定証書の伝達



千村さんの御活躍をご期待します！

ー期待のニューフェイス 千村有紀子さんー

長野県では、地域の山づくりを進めるリーダーとして、2年間の研修と審査会を経て「長野県林業士」を認定しています。木曽地域には、現在5名の林業士が活躍されていますが、今年度の認定では、木曽町の千村有紀子さんが、8年ぶりの新規林業士として認定されました。

千村さんは、ご主人とともに（株）木曽ツリーワークスを運営されている他に、地域の木作家等の作品が並ぶカフェの企画や、木曽五木の精油を使ったアロマ製品等の開発、木育、木工の体験イベントの開催と幅広い世代の方に向けた活動をされています。また、こうした森林・林業に関わる活動から、木曽地域の活性化につなげていきたいとの希望を話されており、今後より一層の活躍が期待されます。